



シラバス参照

タイトル「**2015年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2015年度 観光学部シラバス**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	地域文化交流論		
担当教員	吉田 道代		
対象学年	2年	クラス	T1
講義室	E-105	開講学期	前期
曜日・時限	火5	単位区分	選必
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)			
授業の概要・ねらい	オーストラリアでは、18世紀にイギリスからの入植を通じ、アングロ・サクソン系住民を主流とし、先住民と、英語以外の言語およびアングロ・サクソンとは異なる民族的背景を持つ移民をエスニック・マイノリティ (少数民族) とする社会が形成された。本授業では、オーストラリアにおけるアングロ・サクソン系移民とこれらの移民の出会いと文化交流をテーマとし、前半では主流による移民の文化の管理と利用について、後半では主流のまなざしを意識した移民の民族文化の商業化・観光資源化についてみていく。		
授業計画	回	内容	
	1	はじめに：「他者」との出会いと文化交流	
	2	オーストラリアの歴史と移民政策	
	3	植民地時代・第二次世界大戦前(1)：イギリス・アイルランド移民の入植	
	4	植民地時代・第二次世界大戦前(2)：先住民の排斥と周辺化	
	5	植民地時代・第二次世界大戦前(3)：中国人労働者の利用と排斥	
	6	植民地時代・第二次世界大戦前(4)：日本人労働者の利用と排斥	
	7	第二次世界大戦後の人口拡大政策 (1950・60年代)：東欧難民・南欧移民	
	8	1970年代以降のアジア系移民の増加(1)：多文化主義の導入と実践	
	9	1970年代以降のアジア系移民の増加(2)：多文化主義批判	
	10	民族文化の商業化・観光資源化(1)：中国人街 (シドニー)	
	11	民族文化の商業化・観光資源化(2)：イタリア人街 (シドニー)	
	12	民族文化の商業化・観光資源化(3)：ベトナム人街 (シドニー)	
	13	民族文化の商業化・観光資源化(4)：日本人街 (ブルーム)	
	14	おわりに：対等な文化交流に向けて	
	15	試験	
到達目標	地域的コンテクストをふまえ、文化間の接触について分析する力を養成する。		
成績評価の方法	授業への積極的参加と授業時間内に提出する課題、最終回の確認テストの結果で総合的に評価する。		
教科書	指定しない。		
参考書・参考文献	指定しない。必要な文献・資料については、授業時間内に適宜指示する。		
履修上の注意・メッセージ	履修者数に応じて成績評価の方法を変更する可能性がある。変更の場合には、授業中に通知する。		

履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	授業中に配布した資料やノートを参照し、自主的に復習を行うこと。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.